



災害廃棄物（がれき）や放射線について、 質問にお答えします。（その2）

Q3

焼却工場からの
排ガスに放射性物質は
含まれないのですか。
一般環境への
影響は
ないのですか。

焼却工場には排ガスの中に含まれる灰（飛灰）を集める装置（バグフィルター）があり、99.9%以上の放射性セシウムは除去できます。わずかに大気中に放出される可能性があります。既に存在する放射性物質の量から見れば、環境や人への影響は無視できる程度です。

Q4

放射性物質は灰に
濃縮されると聞きますが、
埋立てることにより
人や環境への
影響はないのですか。

今回の災害廃棄物の焼却では、排ガスから集められた灰（飛灰）には、最大330ベクレル/kgの放射能濃度になる可能性があります。この灰は響灘西地区廃棄物処分場で処分することとしており、周辺住民への影響はありません。また、処分場が海に近いことから、放射性セシウムが溶出しないよう特別な工法を用いるとともに、排水処理施設に吸着材を準備することとしています。

Q5

放射性物質の環境への
影響は、きちんと
測定するのですか。

焼却工場、廃棄物処理場では、焼却灰や排水、排ガスなどの放射能濃度を測定することとしています。また、各施設の敷地境界では、空間放射線量を測定することとしています。結果は、速やかに市のホームページに掲載します。

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyuu/01100011.html>

Q6

市民が安心できるよう、
また、風評被害が
出ないように、どのような
対策をとるのですか。

市民に安心していただき、風評被害を起こさないようにするためには、処理の方法やその影響、測定結果などを市民に正しく伝え、理解していただくことが重要です。市のホームページへの掲載はもとより、パンフレットやちらしの配布、報道機関への情報提供などを積極的に進めます。また、市民への説明会も、要請があれば出かけて実施することとしています。

お問い合わせ先 **北九州市環境局**

災害廃棄物専用ダイヤル ☎582-2411

受付は8時30分～17時15分（土曜、日曜、祝・休日は除く）

平成24年5月19日
No.1211007D